

事務事業名	子ども読書活動推進計画策定事業	整理番号	11101-010
所管	図書館 学習情報スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 17年度 ~ 平成 18年度	根拠法令・要綱等	子どもの読書活動の推進に関する法律・市子ども読書活動推進会議設置要綱
基本計画における位置付け	基本政策	1-1 心豊かな人づくり	関連 1-1-2 少年期の教育の充実（小中学校）
	政策	1-1-1 乳幼児期の教育の充実	政策 1-2-1 家庭教育の充実

事務事業の内容

目的（何のために）	読書活動により子どもの思考力や表現力、知識や情操などを豊かにし、家族で読書に親しみ、時を共有することで子どもの健やかな成長を促す。
対象（誰・何を）	子ども（中学生までを対象）、御殿場市子ども読書活動推進計画
手段（どのようなやり方で）	御殿場市子ども読書活動推進会議を設置し、子どもの読書に関わる市民団体等から成る委員や、行政機関による協議・検討を経て、子ども読書活動推進計画を策定する。
成果（どのような状態にしたいか）	「本でつなごう・ごてんばのあした」をキャッチフレーズとして、市が中心となり、地域・学校・家庭が一体となって読書活動の推進に務める。
事務事業の背景・住民の意向	平成11年の衆参両院決議により平成12年を子ども読書年とし、子どもの読書活動を支援していくことが決定。平成13年「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定、平成16年「静岡県子ども読書活動推進計画」策定。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度		
平成17年度	御殿場市子ども読書活動推進会議設置 会議等開催（4回）、アンケート調査実施（関係施設、小中学生904名とその保護者、市内園児の保護者526名）	
平成18年度	会議等開催（7回）、市内学校図書室見学、先進市視察、市民意見の募集 御殿場市子ども読書活動推進計画の決定	

評価指標

<p>推進計画策定に係る市民1人当たりの経費(円)</p>		
-------------------------------	--	--

事務事業の評価

観点別・一次評価（担当部署の評価）		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	計画策定までの段階が終わったに過ぎないが、アンケートや委員の「声」を反映し、具体的方策を盛り込んだ計画書に上がった点は評価できる。	完了
	有効性		
	効率性		
一次評価	A		完了
二次評価（行政評価委員会の評価）		コメント	今後の方向性
二次評価	B	計画の有効的な利用に努められたい。	完了

改革プラン

平成19年度からの対応	計画実施についての体制づくり。 重点プロジェクト、拡大事業、前期（平成19～22年度）着手予定事業について、順次、準備・検討・実行していく。
平成20年度以降の対応	点検・評価の体制づくり。 重点プロジェクト、拡大事業、前期（平成19～22年度）着手予定事業について、順次、準備・検討・実行していく。
改革により予想される成果	具体的な事業実施予定を組んでいくことが、計画の円滑な推進につながる。